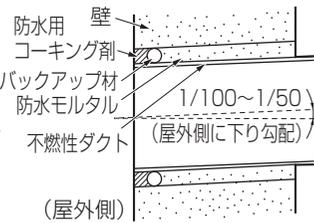


施工方法

以下の手順にしたがって施工してください

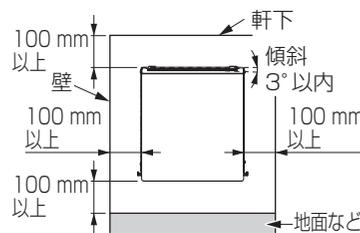
①ダクトの外壁端面処理を施す(雨水浸入防止処理)壁にダクトを通し、仕上げをする

- 屋外側に下り勾配(1/100~1/50)を設けてください。
- 壁内部に雨水が入らないように、防水用コーキング剤を確実に施してください。
- ダクトは壁面から飛び出さない長さにしてください。壁面より飛び出して配管されますと、フードが壁面より浮くおそれがあります。



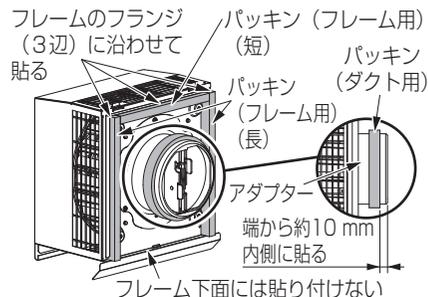
お願い

- フードの両側面は壁、軒下・地面などから100 mm以上あけてください。(フードの着脱ができません) また、フードの傾斜は3°以内としてください。(虫が排出されないおそれがあります)

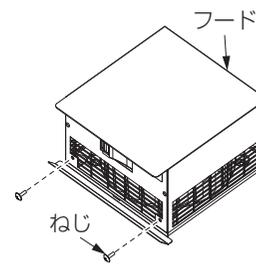


②フレーム裏面にパッキン(フレーム用)、アダプターにパッキン(ダクト用)を貼り付ける

- VU管など内径φ102以上の場合、パッキン(ダクト用)は不要です。

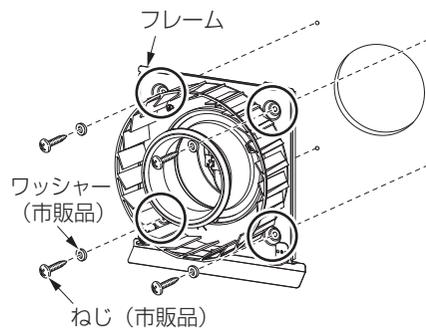
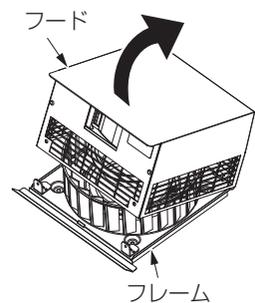


③フードを固定しているねじ(2個)をはずす



④フードをフレームからははずす

⑤フレームを壁面にねじ(M4用、4個)とワッシャー(M4用、4個)で固定する(4か所)

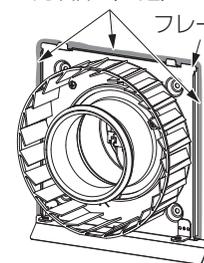


お願い

- ねじ、ワッシャーはステンレス製を使用してください。
- ねじの締め付けに注意してください。(壁面の凹凸などによっては、変形するおそれがあります)
- ねじの締め付けの際、軸長が150 mm以上のドライバーを使用してください。ドライバーがファンに接触し、破損するおそれがあります。
- 壁面の強度が不足する場合は、アンカープラグ(市販品)を使用してください。

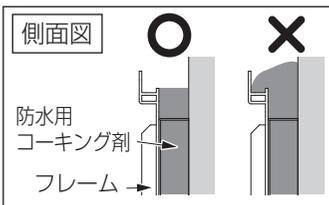
⑥コーキング充填部(フレームと壁面との間)に防水用コーキング剤を施す(下面は除く)

防水用コーキング剤充填部(3辺)

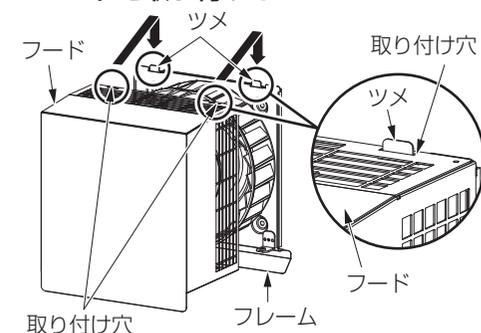


お願い

- フレームの端面まではみ出さないように防水用コーキング剤をしっかりと充填してください。(フードの取りはずしができなくなるおそれがあります)

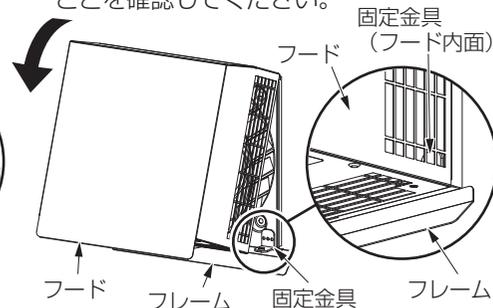


⑦フードの取り付け穴(2か所)をフレーム上部のツメに引っ掛け、フードを取り付ける



お願い

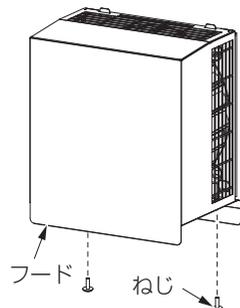
- フード下部が固定金具を覆っていることを確認してください。



⑧フードをフレームに③ではずしたねじ(2個)で固定する

お願い

- ねじの締め付けの際、トルクの強いインパクトドライバー等は使用しないでください。フレームが破損するおそれがあります。

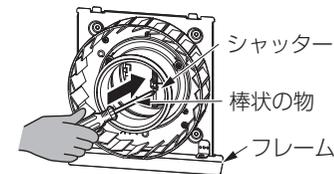


温度ヒューズの交換 (FY-CUXA04 FY-CUXA04-K) FY-CUXA04-W

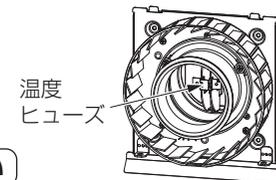
①施工方法③を参考にフードを固定しているねじ(2個)をはずす

- フード内部にある交換前のヒューズはフードから取り除いてください。

②閉じているシャッターの中央部に棒状の物で押しシャッターを開く

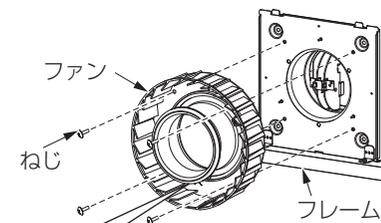


③開いて折りたたんだ状態にてシャッターに新しい温度ヒューズを差し込む



お願い

- 折りたたむ際に手が入りにくい場合はファンを固定しているねじ(4個)をはずし、ファンを取りはずしてからおこなってください。交換後はファンを元どおり取り付けください。



刻印が下部に位置していることを確認してください。

④①と逆の順でフードを元どおりねじ(2個)で固定する

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番
TEL(0568)81-1511

© Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2020-2023
CUXA044500A-P0620-1033